

事業報告書

日時	令和4年10月1日（土）14:00～16:00
目的	<p>安全・安心で幸福が実感できる島の形成を目指す沖縄県では、子どもの貧困の解消、誰もが安心して働ける環境作り、多様性を尊重する共助・共創型社会の実現などを目標として、さまざまな施策が官民協力の上で遂行されている。</p> <p>一方で、よりよい社会をつくるために自分も何か役に立ちたいと考えているものの、具体的な行動のための第一歩を踏み出せない個人が多くいることも想像される。</p> <p>今回の講座ではNPO法人という形態で地域課題の解決や活性化に取り組む講師を招き、活動の目指すところや、個人がボランティア等の方法でよりよい社会づくりに参画する意義や方法について講話してもらうことを通じて受講者の社会参画を促すことを目的とする。（第6次沖縄県男女共同参画計画 DEIGO プラン 3-1-34）</p>
対象	ボランティアを始めたい方、関心のある方
講師	<p>第1部：糸数 未希氏（NPO法人にじのはしファンド 代表理事）</p> <p>第2部：南 信乃介氏（繁多川公民館 館長/NPO法人1万人井戸端会議 代表理事）</p> <p>情報提供：大城 洋明氏（社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会地域福祉部沖縄県ボランティア・市民活動支援センター 主任）</p>
会場	ているる3F 研修室1・2
参加者数	22名
講演内容 (概要)	<p>NPO法人という形態で地域課題の解決や活性化に取り組むリーダー二人から、活動のきっかけや活動における想い、活動を通して得られた成果、参加する人々の様子などを教えていただき、その後ボランティアの始め方について具体的に情報提供を受ける講座でした。</p> <p>【第1部】糸数 未希氏（NPO法人にじのはしファンド 代表理事） 一般企業でのフルタイム勤務をしながら複数のNPO法人を立ち上げてきた講師は、「皆さんの気持ち・想いが一番大事」、「まじめな問題に取り組むほど楽しいこと、仲間がいること、仲間と冗談が言えることが大事」とした上で、12年に亘り、理由があって親と一緒に暮らしていない社会的養護の子どもたちの支援をしている「にじのはしファンド」の活動を紹介した。 ある大学生との出会いがきっかけとなった設立経緯、最初は怪しまれながらも続けてきた送り等の取り組みが、子どもたちを支援するだけでなく社会を動かすこととなり、沖縄県内の児童養護施設の子どもの進学率が全国と比較して大幅に上昇していること、大学での授業料免除や県の奨学金事業が始まるなど社会が良い方向に変わってきていると述べた。講師は、子どもたちが施設や年代を超えて交流する場の重要性についても触れながら、今回の話を通して皆さんの中に何か始めようという種が植えられたらいいと思うと締めくくった。</p> <p>【第2部】南 信乃介氏（繁多川公民館 館長/NPO法人1万人井戸端会議 代表理事） 繁多川公民館の館長である講師は、最初に「一人ひとりが歩んできた地域、家庭、育ってきた環境で出会ってきた経験が巡り巡って地域の力になっていることを日々感じている」として話し始めた。そもそも公民館は戦後の民主化を地域に根ざすために設立され、みんながいて良い場所、私たちの暮らしを良くしていくためのいろいろなことができる場所と説明。実際に繁多川公民館で地域の人たちの知恵と経験で成し遂げた事例として昔ながらの豆腐を再現しようと在来大豆を探すことから始めた「あたいぐあープロジェクト」など様々な取り組みを紹介。 公民館はそこにいてレッテルを貼られることがなく、目的がない偶然の出会いの面白さがあり、社会教育的コミュニケーションの場にもなる。地域の中の誰かが持っている経験や知識は将来どこでどう使われるか誰もわからない。自分の中の体験をいろいろな言葉で人と話してみることは最初の第一歩としてとても大事。公民館にも是非足を運んで欲しいと結んだ。</p> <p>【情報共有】大城 洋明氏（沖縄県ボランティア・市民活動支援センター 主任） 担当主任による情報提供。「やるかどうかは自分の意思で決められる」といったボランティアの定義、ネットでの情報収集や電話・メール・対面での相談も可能なボランティアセンターの活用方法、ボランティア活動をするときの心構え、ボランティア活動保険などの情報が提供され、受講者はボランティアへの具体的な第一歩を確認した。</p>
参加者の声	<p>（自由記載欄より抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの大変さを“楽しむ”に変換することがボランティアを続ける秘訣だと気づきました。お二方共気が無く、本当に楽しんでいる事が印象的です。 ・いろんな所で動いているのがすばらしい。自分には何ができるか考えさせられました。 ・まずは一歩ふみ出すこと。行動することの大切さを一番に思いました。 ・お二人の講話からパワーをいただきました。継続していくことの大切さ、人とのつながりを今一度自分を見直して、一歩前に前進していきたいと思えます。
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>糸数 未希氏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>南 信乃介氏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大城 洋明氏</p> </div> </div>
主催等	主催：沖縄県、（公財）おきなわ女性財団